

# 「未来の学び」創造シート

緑野中学校 1年B組

授業者 大吉 惇平（緑野中学校）

間下 りな（緑野中学校）

和田 拓（緑野中学校）

## 1 題材名

音楽科「日本語の抑揚や琉球音楽の特質を生かした旋律をつくろう」

## 2 教科・領域の「ねらい」

- 沖縄音楽の特徴を理解し、沖縄の風土や伝統音楽のよさを味わう。
- ICTを活用して、音のつながりなどを試行錯誤しながら旋律を創作する。

## 3 キャリア教育の視点からの「ねらい」

基礎的・汎用的能力	ICT・学校図書館活用型授業	協議型授業	外部人材活用型授業
人間関係形成 社会形成能力	○	○	○
自己理解 自己管理能力			
課題対応能力	○	◎	○
キャリアプランニング能力			

## 4 授業の概要



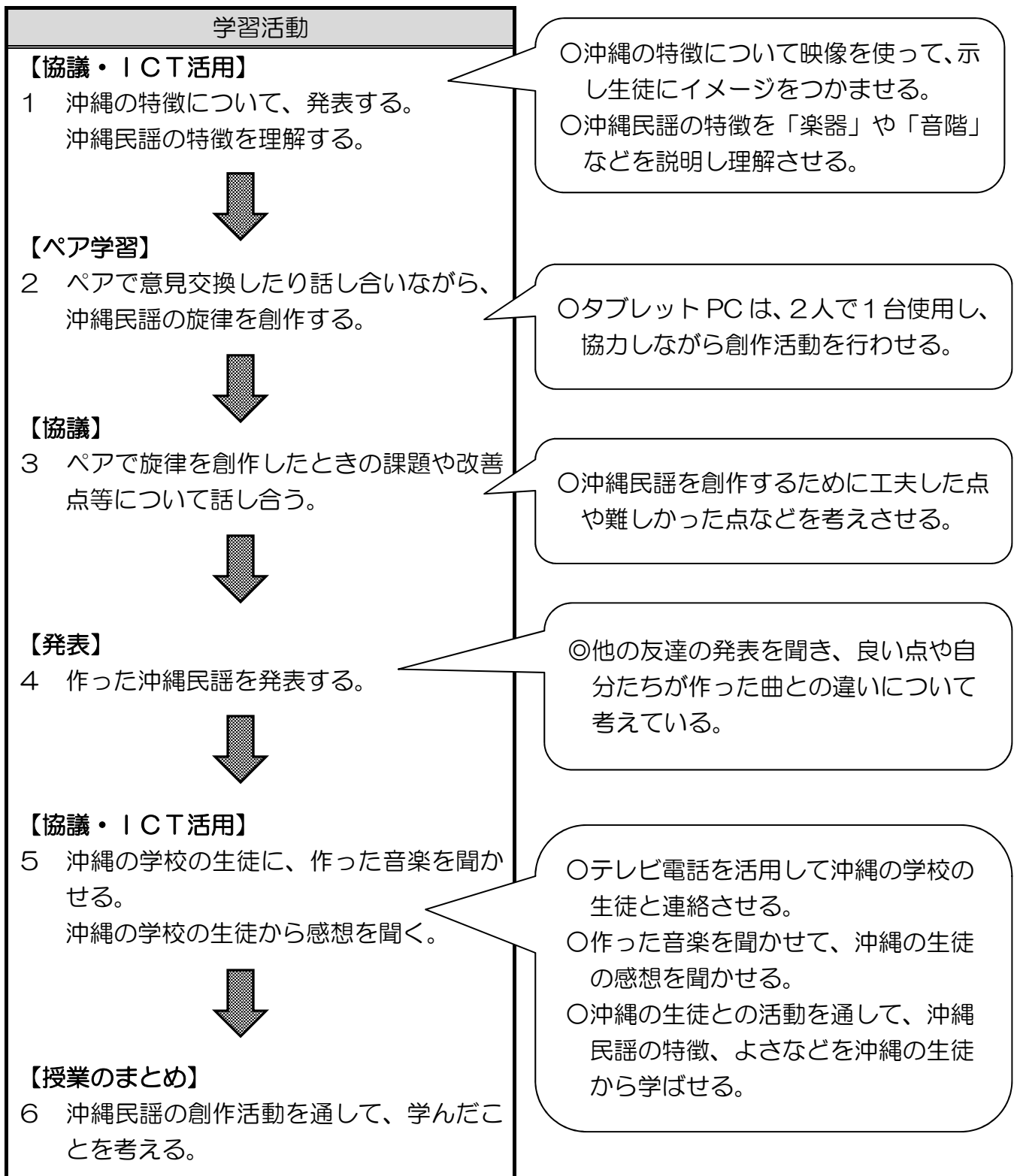
沖縄民謡の特徴を音楽の諸要素「楽器」や「音階」などから理解させ、その特性を生かして旋律を創作させる授業である。

音楽は、「エイサー」や「カチャーシー」など、音楽に合わせて踊る沖縄の風土を味わえるものを選んだ。生徒は、自らがもつ沖縄に対してのイメージを重ねながら“歌詞”を考え、“リズム”を構成し、最後にタブレットPCを活用しながら“旋律”を創作する。緑野小学校出身の生徒は、6年生の時にタブレットPCを使っての音楽づくりをしているので、他の小学校出身者にも教え合いながら、より効果的な話し合い活動ができるように「ペア学習」を取り入れた。

本時は、入力した後に旋律を発表させる。授業では、沖縄の学校と連絡を取りながら完成した作品を聴いてもらうなど、交流の中で学習が深まることを期待している。



5 本時の学習活動 (◎・・・評価) ・・・・指導上の留意点



6 小中連携キャリア教育の視点から

小学校で学んだ「VOCALOID™ for Education」を活用して、プログラミングにより「論理的思考力」を育成するための学習活動である。これにより「課題対応能力」を育成する。さらに、沖縄の中学校との交流により「人間関係形成・社会形成能力」の育成を図る。